

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE京都-新築 (2011年版) | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2011(v.1.2)

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|----------------------|--------|-------------|
| 建物名称 | (仮称)京都市上京区元浄花院町計 | 階数 | 地上5F |
| 建設地 | 京都市上京区上長者町通烏丸西入 | 構造 | RC造 |
| 用途地域 | 第二種住居地域、準防火地域 | 平均居住人員 | 50人 |
| 気候区分 | 地域区分IV | 年間使用時間 | 8,760時間/年 |
| 建物用途 | 集合住宅 | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2014年12月 予定 | 評価の実施日 | 2013年10月29日 |
| 敷地面積 | 1,091 m ² | 作成者 | 株式会社東洋設計事務所 |
| 建築面積 | 647 m ² | 確認日 | 2013年10月29日 |
| 延床面積 | 2,364 m ² | 確認者 | 株式会社東洋設計事務所 |



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 73%
③上記+②以外の 73%
④上記+ 73%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Qのスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.6

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

| 3 設計上の配慮事項 | | |
|------------|--|-----------------------|
| 総合 | ノンフロン断熱材を使用し、省エネ対策に特化した建物とした。 | その他 特になし |
| Q1 室内環境 | F☆☆☆☆の規格に適合した建築材料を全面的に利用することで、空気室環境について配慮した。 | Q3 室外環境 (敷地内) 特になし |
| Q2 サービス性能 | 京都市建築物等のバリアフリーの促進に関する条例に準ずる配慮を行った。 | LR3 敷地外環境 特になし |
| LR1 エネルギー | 住宅性能評価省エネ対策等級4とした。 | |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される